

教科(科目)	国語(現代の国語)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	第一学習社『高等学校 現代の国語』				
副教材等	第一学習社『新版意味から学ぶ頻出漢字3000』、浜島書店『巻頭増補版 常用国語便覧』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	① 多様な考えを尊重し、協働的な取り組みをとおして最適解を求める資質・能力を育成します。 ② 礼節を重んじ、感謝の気持ちを持って社会に貢献しようとする資質・能力を育成します。 ③ 知的好奇心と想像力に富み、生涯にわたり主体的に学び続ける資質・能力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	① 全日制普通科の高等学校として、生徒一人ひとりの多様な進路に対応するために、知・徳・体のバランスのとれた総合的な力をつける教育活動を展開します。 ② 協働的な学びを進めるために、ICTを効果的に活用したグループ学習や課題探究活動、プレゼンテーション活動などを、「総合的な探究の時間」を始めとした各教科の学習に取り入れます。 ③ 地元の行政機関や大学、企業等と連携して、地域を知り、地域に貢献し、さらに全国的、世界的な視野をもてるような活動を教科等横断的に行います。 ④ 生徒の主体的な活動を支援し、多様な人や考え方と接する機会をつくるために、生徒会活動や学校行事等を充実させます。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
--

3 指導の重点

進学・就職に対応できる力を養うため ① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。 ② 文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。 ③ 更にそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	以上の観点をふまえ、 ・ペーパーテストの分析 ・観察、実験、式やグラフでの表現の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点をふまえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点をふまえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点 「A:十分満足できる」、「B:おおむね満足できる」、「C:努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	論理的な文章の内容や構成、論理の展開について理解し、要旨を把握しよう。	8「C読むこと」	山崎正和「水の東西」	・筆者の主張や論拠、文章の構成、論理の展開について、理解する。 ・互いの要約を読み比べ、コメントを書く。 ・説得力のある文章の特徴について考え、発表する。	8	定期考査 ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)
5	文学的な文章を読み、登場人物の心理を読み取り、読書の楽しみを知ろう。	7「B書くこと」	夏目漱石「夢十夜」	・「夢」の中で「自分」は何を判断の基準としているか読み取り論述する。 ・比喩や言い換えなどの修辞を理解する。 ・解釈した内容を工夫してまとめ、紹介文を書く。	7	ワークシート (記述の点検) 定期考査 発表の様子 (行動の確認)
	具体と抽象を整理して論理を把握し言語の性質を理解しよう。	6「A話すこと・聞くこと」	鈴木孝夫「ものことば」	・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら内容を理解する。 ・言語について調べたことを説明資料にまとめる。 ・説明の仕方を工夫して説明する。	6	定期考査 ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)

7 8	文学的な文章を読み、登場人物の心理を読み取り、読書の楽しみを知ろう。	6「A 話すこと・聞くこと」	浜田マハ 「砂に埋もれたル・コルビュジエ」	・一冊の本にまつわる三人の思いを読み解く。 ・読み解いた自分の考えを論述する。 ・「正司さん」や「父」の行動の背景にある戦争について理解する。	6	ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認) 定期考査
9	人間の生き方について、自分に照らして考えを深めよう。	8「B 書くこと」	中村桂子 『生きもの』として生きる」	・筆者の主張や論拠、文章の構成、論理の展開について、理解する。 ・互いの要約を読み比べ、コメントを書く。 ・説得力のある文章の特徴について考え発表する。	8	定期考査 ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)
10	人間の内面に潜む恐怖とは何かを読み解くなどして自分の意見や考えをまとめよう。	7「B 書くこと」	村上春樹 「鏡」	・場面の緊迫感を高めるためにどのような表現技法が用いられているか読み取り論述する。 ・比喩や擬音、言い換えなどの修辞を理解する。 ・自分の恐怖体験を工夫してまとめ、紹介文を書く。	7	ワークシート (記述の点検) 定期考査 発表の様子 (行動の確認)
11	筆者が提起する現代社会の問題について考えよう。	6「A 話すこと・聞くこと」	林香里 「現代の『世論操作』」	・筆者の主張や論拠、文章の構成、論理の展開について、理解する。 ・筆者が挙げた以外の自分なりの具体例を探す。 ・現代用語を理解し語彙を豊かにする。	6	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) 定期考査
12	作中に示された死生観について考えを深めよう。	8「B 書くこと」	志賀直哉 「城の崎にて」	・三つの小動物の死を通して「自分」の死生観がどう変化しているか読み取り論述する。 ・比喩や擬音、言い換えなどの修辞を理解する。 ・解釈した内容を工夫してまとめ、紹介文を書く。	8	ワークシート (記述の点検) 定期考査 発表の様子 (行動の確認)
1	近代化と時間の合理性との関係について理解し、「持続可能な社会」について考えよう。	7「C 読むこと」	内山節 「不均等な時間」	・具体から一般への展開と、対比の構造を理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら内容を理解する。 ・既習の内容をふまえ、自分の考えを紹介する。	7	ワークシート (記述の点検) 定期考査 発表の様子 (行動の確認)

2 3	他者に理解される表現や表記の仕方を考えよう。	7「A 話すこと・聞くこと」	「地域の魅力を紹介する」	・情報を的確に紹介する方法を理解する。 ・必要な情報を収集整理し、わかりやすく紹介するための方法を工夫する。 ・互いの紹介文を進んで批評し合い、それをうけてさらに向上させようとする。	7	授業態度 ワークシート （記述の点検） ポートフォリオ
--------	------------------------	----------------	--------------	---	---	--

計 70 時間（50 分授業）

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 「話すこと・聞くこと」 25 時間	B 「書くこと」 30 時間	C 「読むこと」 15 時間
-----------------	------------------------	-------------------	-------------------

7 課題・提出物等

- ・ 定期的に漢字小テストがあります。日程、テスト範囲等は別紙として配付します。
- ・ 長期休業中の課題は別途指示します。

8 担当者からの一言

「現代の国語」は、実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する科目です。実社会に必要な国語の知識や技能を身につけたり、言葉による見方考え方を働かせ、論理的に考える力や深く共感する力、豊かに想像する力を伸ばしたり、言葉が持つ価値への認識を深めたりすることなどを目指します。「現代の国語」及び「言語文化」で学ぶことは、高校3年間だけでなく、皆さんの生涯にわたる基礎となります。授業では、基礎・基本を大切にするとともに、実際に話したり書いたりする学習活動を通して、応用力を高めていきます。

（担当：星野 さなえ）

教科(科目)	国語(言語文化)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	第一学習社『高等学校 言語文化』				
副教材等	浜島書店『新訂版 常用国語便覧』 尚文出版『新装版 新しい古典の学習 2in1スタイル学ぼぞ 古文と漢文』 尚文出版『学ぼぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 第一学習社『現代の国語』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	① 多様な考えを尊重し、協働的な取り組みをとって最適解を求める資質・能力を育成します。 ② 礼節を重んじ、感謝の気持ちを持って社会に貢献しようとする資質・能力を育成します。 ③ 知的好奇心と想像力に富み、生涯にわたり主体的に学び続ける資質・能力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	① 全日制普通科の高等学校として、生徒一人ひとりの多様な進路に対応するために、知・徳・体のバランスのとれた総合的な力をつける教育活動を展開します。 ② 協働的な学びを進めるために、ICTを効果的に活用したグループ学習や課題探究活動、プレゼンテーション活動などを、「総合的な探究の時間」を始めとした各教科の学習に取り入れます。 ③ 地域の行政機関や大学、企業等と連携して、地域を知り、地域に貢献し、さらに全国的、世界的な視野をもてるような活動を教科等横断的にを行います。 ④ 生徒の主体的な活動を支援し、多様な人や考え方と接する機会をつくるために、生徒会活動や学校行事等を充実させます。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を育む。

3 指導の重点

進学・就職等に対応できる力を養うため ① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に古文・漢文の読解力を育成します。 ② 更にそれらに基づいて的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。 ③ 日本の言語文化の担い手として、伝統的な言語文化に関心を持ち尊重する態度を育てます。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	以上の観点をふまえ、 ・ペーパーテストの分析 ・観察、実験、式やグラフでの表現の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点をふまえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点をふまえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点 「A:十分満足できる」、「B:おおむね満足できる」、「C:努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	わが国の言語文化についての理解を深めるために古典の世界に親しもう。	8「C読むこと」	「児のそら寝」 古文を読むために1	・現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	8	定期考査 ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)
5	わが国の言語文化についての理解を深めるために漢文の世界に親しもう。	7「B書くこと」	「狐借虎威」「蛇足」 故事成語の由来と意味を調べる	・漢文訓読の基礎知識を身につける。 ・たとえ話の意味を理解する。 ・日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やそうとしている。	7	ワークシート (記述の点検) 定期考査 発表の様子 (行動の確認)
6	説話に描かれた生き生きとした人物描写を読み味わおう。	6「C読むこと」	「絵仏師良秀」 古文を読むために2	・主として品詞の種類について、文語のきまりを理解する。 ・説話から良秀の特異な言動を読み取り、内容や展開を的確に捉える。 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。	6	定期考査 ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)

7 8	史伝に描かれた生き生きとした人物描写を読み味わおう。	6「C読むこと」	「完璧」	・史伝に描かれた時代背景を知るとともに作中人物の考えや人物像を捉える。 ・読み解いた自分の考えを論述する。 ・受身、使役などの基本的な句形を理解する。	6	ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認) 定期考査
9	文学的な文章を読み、登場人物の心理を読み取り、読書の楽しみを知ろう	8「C読むこと」	芥川龍之介「羅生門」	・「老婆」が「下人」の心理や行動にどう影響を与えているか読み解く。 ・読み解いた自分の考えを論述する。 ・比喩などの習字を理解する。	8	ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認) 定期考査
10	言語文化の継承について考えを深めよう。	7「C読むこと」	「なよ竹のかぐや姫」 古文を読むために 3	・千年以上前の物語が現代まで継承されていることを知る。 ・学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。 ・用言の活用を理解する。	7	授業態度 発表の様子 (行動の確認) 定期考査
11	表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取ろう。	6「C読むこと」	唐詩の世界 漢詩のきまり	・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・漢詩のきまりを理解する。 ・粘り強く漢詩を読み比べ作者の心情や境遇を説明しようとしている。	6	ワークシート (記述の点検) 定期考査 発表の様子 (行動の確認)
12	物語の中で和歌が果たす役割を押さえ、わが国の和歌の伝統を理解しよう。	4「C読むこと」	「伊勢物語」 古文を読むために 4・5・7	・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・異なるテキストと読み比べ、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。 ・和歌の修辞技巧、助詞、助動詞について理解する。	4	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) 定期考査
12	戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、史伝という文章の種類をふまえ、内容や展開を的確に捉えよう。	4「C読むこと」	「先従隗始」	・比喩を用いた論理の巧みさを読み解く。 ・読み解いた自分の考えをわかりやすく説明しようとしている。 ・抑揚、比較、反語などの基本的な句形を理解する。	4	授業態度 発表の様子 (行動の確認) 定期考査

1	思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。	7「C 読むこと」	「徒然草」 古文を読むために 6	・ 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・ 敬語表現を理解する。 ・ 随筆の内容を粘り強く把握し、学習課題に沿って説明しようとしている。	7	授業態度 定期考査 ポートフォリオ
2 3	わが国にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解しよう。	3「C 読むこと」 4「B 書くこと」	「論語」	・ 孔子の理想とするところを理解する。 ・ 孔子のエピソードを課題に応じて調べ文章にまとめる。 ・ 訓読のきまりを理解する。	7	授業態度 ワークシート （記述の点検） 定期考査

計 70 時間（50 分授業）

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 「話すこと・聞くこと」	B 「書くこと」	C 「読むこと」
		11 時間	59 時間

7 課題・提出物等

- ・ 単元ごとに、振り返りシートを記入し提出してもらう場合があります。
- ・ 長期休業中の課題は別途指示します。(指定図書の読書レポートなど)

8 担当者からの一言

「言語文化」では主に日本や中国の古人が残した文章を学びます。長い時代を経ても変わらない人間の思いを感じながら、実際に話したり書いたりする学習活動を通して、応用力を高めていきましょう。
(担当：星野 さなえ)